

ひろしま郷土資料館だより

NO.110

企画展 広島駅のいまむかしー路面電車が乗り入れた (郷土資料館・ヌマジ交通ミュージアム連携企画展)

会期：令和7年5月17日(土)～7月6日(日)

広島駅の新駅舎が完成し、路面電車の乗り入れが見込まれることから、広島駅をテーマとする企画展示案の提案を受けたことから実施した企画展です。7年度秋にヌマジ交通ミュージアムでも広島駅を取り上げた展示を実施する計画であったことから、当館では路面電車を中心に都市内交通に特化した内容とし、特に多くの技術が投入された路面電車の2階乗り入れという出来事について紹介するスタイルとしました。一方、ヌマジ交通ミュージアムでは都市間交通、主に新幹線を中心とした内容とし、当館では必要最小限の取り扱いとしました。

本企画展では、鉄道の「駅」という空間にも目を向けています。現代においても駅は都市あるいは町における重要な位置を占めており、駅という鉄道の結節点を中心に町が形成され、新たな都市文化が創造されてきました。その視点のもとに広島駅を見ています。広島駅が明治27年(1894)に開業して以降、広島市の玄関口となり、市内中心部とつながる路面電車が大正元年(1912)に開業して一段と利便性が向上した一方、町の中心である紙屋町や八丁堀地区と比べてあまり重要視されてこなかったものの、令和7年(2025)の新駅ビルの開業と、路面電車が2階に乗り入れによって新たな魅力が向上し、今後広島市のまちづくりにおいて広島駅の位置付けは確実に高まることを紹介しました。

展示としては、駅についての前置きの後、以下の5コーナーで構成しました。

- (1) 広島駅誕生：広島に至るまでのルート、広島駅の立地については、非常にすぐれた場所であることを紹介しつつ、それが発展して駅は栄え、大正時代には二代目の駅舎が誕生するという戦前までの歴史を紹介しました。
- (2) 広島駅から発展した路面電車：広島駅誕生とともに



二階企画展示室



EPS

広島駅から駅前大橋へ向かう盛土部分に使用された発泡スチロール

目次

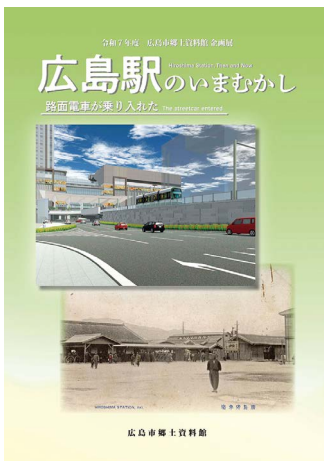
- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|------------------------|
| P 1-2 | 企画展 広島駅のいまむかしー路面電車が乗り入れた | P 6 | インターンシップ |
| P 2-4 | 企画展 夏休み おばけの博物館 | P 6-7 | 活動報告 (令和7年4月～9月) |
| P 4-5 | スペシャルイベント「郷土資料館 被爆建物案内」 | P 8 | 令和7年度(2025年度) 後期企画展の紹介 |
| P 5 | 博物館実習(館務実習) | | |



一階展示ロビーでの展示



展示ガイドの様子



展示図録

に都市の入口として交通の結節点となり、路面電車が誕生し、広島市の都市内交通が発展して広島市が大いに栄えました。広島電鉄（以下広電）の戦前の歴史を、資料などとともにご紹介しました。

(3) 被爆からの復興と広島駅：原爆によって広島駅では駅舎が被災し、その後周辺には闇市が立ち並びました。路面電車は交通の軸として栄え、やがて復興とともに手狭となった広島駅は、三代目の駅舎である民衆駅が昭和40年に誕生し、後に新幹線が広島まで延伸されました。

(4) 変わりゆく都市交通と広島駅：モータリゼーションによって路面電車が廃れる町が多い一方、広島では路面電車を交通の軸として位置づけるようになります。やがて路面電車がLRTとして見直されて、広島市も政策に力を入れ、コンパクトシティの考え方の中心となっていきました。

(5) 広島駅2階に路面電車が乗り入れる：駅のリニューアルに伴い、広電の構想である駅前ルートが現実のものとなり、そのなかで、2階への路面電車乗り入れが実現しました。このプロジェクト及び今回の建設に導入された新しい技術を紹介しました。

実物資料は広電及び路面電車研究者の路面電車資料を中心に実物81点(27件)を展示しました。また、公共機関などから借用した写真、広電などから借用した現在工事中の写真を369点借用し、バランスよい全体構成と実物資料や写真資料の配置とすることができました。

また、企画展開催にあわせて展示図録を販売し、ここでは展示にはない駅についての論考を長めに記載しました。通信販売を含む期間中の売り上げが419冊も通常よりもかなり多い印象を受けました。

(玉置和弘)

会期中の来館者数 2,586名

企画展 夏休み おばけの博物館

会期：令和7年7月19日(土)～8月24日(日)

今年も、こどもたち、ご家族、若い方など幅広い年代の方に、妖怪や昔の暮らしを知っていただき、夏の思い出づくりのお手伝いできればと計画しました。

1階は、楽しく妖怪を見ていただけるよう6つのコーナーを作りました。もし、怖くて2階へ行けなくても、1階だけでも喜んでいただける内容を心がけました。2階は、涼しくなっていだけけるような「展示」を企画しました。今年は、妖怪をじっくり見ていただこうと、妖怪の見栄えを意識してレイアウトを考えました。遠くに大きめの妖怪を置き、そこに近づいていく、雰囲気を楽しんでいただこうと思いました。(もちろん途中にも妖怪はいます。)

【2階展示】

●2階企画展示室

〈昔のおばけ屋敷の迫体験〉

- ・入口の学習コーナーでは、室内にいる妖怪たちの江戸時代に描かれている絵を掲示して、予習をしてから室内に入っていました。1体ずつ確認しながら見て進まれた方、それどころではなかった方…。
- ・室内に入る門は、今年は鬼の口から入っていくようにしました。こどもたちにもわかりやすく、写真スポットとして好評でした。
- ・今年も最後の井戸の中に恐いものが…。

●水木妖怪タイム

毎週水曜日と木曜日の午後2時から1時間くらい、2階企画展示室内に妖怪人間を登場させ、皆様に喜んでいただきました。

【1階展示】

●はじめてのおばけ屋敷(疑似体験)コーナー

こどもたちに大人気の「はじめてのおばけ屋敷(疑似体験)コーナー」を今年も設置しました。コーナーを少し大きくして親しみやすい妖怪を展示しました。入口の幕を恐る恐る開けていたこどもたちも中に入るとほっとした様子で妖怪を見ていました。ここで妖怪に慣れていただきました。

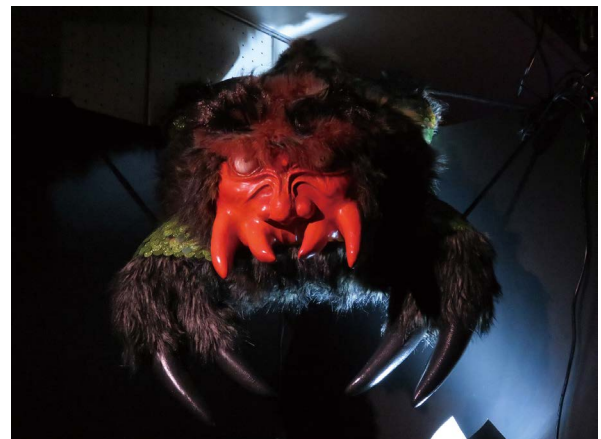
●おばけ(妖怪)総選挙 キミの推しのおばけ(妖怪)はだれだ!?

夏に参議院議員選挙が行われたこともあり、おばけ(妖怪)総選挙を行いました。14のおばけ(妖怪)の選挙ポスターを壁に貼り、一番好きなおばけ(妖怪)を選んで投票板にシールを貼ってもらいました。18歳未満・以上でシールの色を変えたので、こどもと大人の好みの妖怪の傾向があって面白かったです。一番人気は「ごとくねこ」、二番は「踊る猫又」でした。年齢問わず、猫は大人気でした。

1階展示 おばけ(妖怪)総選挙



2階展示入口



2階展示 雷獣



1階展示 はじめてのおばけ屋敷(疑似体験)コーナー



●つくも神作家、八木一文さんのつくも神フィギュア展示

14作品(新作2点・付喪神:にゅうばち坊、付喪神:雲外鏡)のつくも神フィギュアを展示しました。フィギュアの細かな部分まで精巧に作られていて感心します。

●「おぼけてなんだろう」解説コーナー

おぼけは怖いものと思っていますが、そもそも「おぼけとは何か」というテーマで6つのパネルで展示しました。

●「広島妖怪たち」解説コーナー

妖怪はどこかよその場所の話…と思っている方へ。広島市内に現れた妖怪話を6つのパネルで展示しました。

●日本一早い 年賀メール・年賀状作成コーナー!?

今年の夏も大変暑い夏になりましたが、しかし、いつかは冬になり、お正月がやってきます。寒い冬のことを考えて涼しくなっただけと計画したコーナーです。来年の干支は「馬」。来年も(こそ)良い年でありますように。



日本一早い 年賀メール・年賀状作成コーナー

口コミ等でも「夏休みおぼけの博物館」のことは広がっているようで、夏になったら、郷土資料館へおぼけを見に行こうと思っていたら、リピーターの方も多くおられます。昨年や一昨年と比べてどうだったとか、今年のテーマは何ですかなど関心を持っていただき、ありがとうございます。また、暑い時に子どもと一緒に近くで涼しくて楽しい時間を過ごせる場所があって大変助かるなどの、好評な感想を多くいただきました。

ただ、土日祝日など来館者が多く、サービスや満足度の低下が心配される反面、平日などの朝・夕方は少ないこと

がありました。水・木曜日実施の「水木妖怪タイム」など、入館者の分散を考えましたが、効果は十分とは言えません。来年度もご来館いただく方のことを思い、効率的な展示見学や来館曜日時間の分散方法を考えていきたいと思っております。

今年度は37日間の開催期間(うち開館日数32日)で、多くの方々にご来館いただきました。ありがとうございました。

(河村直明)

会期中の来館者数 11,833名

スペシャルイベント「郷土資料館 被爆建物案内」

開催日：令和7年8月6日(水)



玄関ホール
曲がった鉄骨の説明

被爆80年の8月6日(水)に「郷土資料館、被爆建物案内」を行いました。被爆建物(爆心地から3.2km)である当館は、明治44年(1911)に建設された「旧宇品陸軍糧秣支廠」の缶詰工場でした。

イベントでは、4つのコーナーを作って、戦争や平和について考えていただきました。

①玄関ホールでは、原爆の爆風で曲がった天井の鉄骨を見ながら、被爆時の状況について解説しました。

②常設展示室の「昭和の茶の間と台所」では、戦時中の部屋に展示替えをして、当時の人々の暮らし

を説明しました。

③2階講堂では昭和7年(1932)に宇品港から出兵する様子を記録した映像を上映しました。

④「お好み焼き」のルーツとなった戦前のこどもの駄菓子「一銭洋食」と戦中戦後の代用食「江波団子」の試食を行いました。

多くの来館者がありました。東京の高校生や宮城県の中学生在が先生とともに来館され、熱心に話を聞いていました。また、学芸員実習中の大学4年生7名も解説や試食コーナーで活躍してくれました。

平和を祈った被爆80年の8月6日でした。

(河村直明)

イベント参加者数：690名



「昭和の茶の間と台所」(戦時中)の説明を聞いている来館者

博物館実習(館務実習)

実施期間：令和7年8月1日(金)～8日(金)

博物館実習生は、今年度は7名を受け入れました。実習では、毎年当館で8月6日に実施している「被爆建物案内」「昭和の暮らし案内」「一銭洋食づくり」にスタッフとして参加し、試食の補助を行うとともに、案内などを通して戦時中の暮らしや原爆時の状況について来館者へわかりやすく伝えました。

また、資料の取り扱い実習、梱包実習などを行いましたが、普段大学の博物館概論などで扱ったことのない資料を優先的に扱うようにしました。

その他、資料写真の撮影、工作教室の補助、当館で実施している普及事業(藍染め)や学校向けの事業体験などを行いました。最後に、取扱資料の一部を使用したミニ展示にも挑みました。展示するだけでなく、実習生個人が作成した原稿を全員で校正し、さらに全体の説明文を全員協議の上で完成させるという極めて高度な取り組みでしたが、良い内容でした。

このようにどの実習生も積極的に取り組み、7日間の博物館実習は実りあるものとなりました。

(玉置和弘)

実習生：尾道市立大学、広島市立大学、

県立広島大学、安田女子大学 計7名



石臼の取り扱い



藍染め体験

インターンシップ

実施期間：①令和7年8月19日（火）～22日（金）

②令和7年8月26日（火）～30日（金）

今年度は二人の実習生を受け入れました。館の概要についての説明や収蔵資料データの入力作業のほか、①の実習生は終盤を迎える「おばけの博物館」対応や、3日続く夏休みわくわくイベント「紙コップけん玉作り」など主に教育普及事業にあたっていました。また②の実習生は9月から始まる企画展「『ごんぎつね』が語る昔の暮らし」の展示準備や博物館実習生のミニ展示の撤収・梱包など、展示事業にあたっていました。

（前野やよい）

実習生：安田女子大学 ①②各1名
計2名



わくわくイベントの指導



ミニ展示の撤収

活動報告

令和7年4月～9月

教室事業

実施日	事業名	参加者
4月20日（日）	親子教室 和菓子作り	28名
4月26日（土）	教室 かしわもち作り	27名
6月15日（日）	大人向け教室 藍染めTシャツ作り	20名
6月21日（土）	教室 藍染めTシャツ作り（対象：小学生）	20名
9月20日（土）	教室 「ごんぎつね」おはなし会とあんまき作り	24名

和菓子作り



藍染め
Tシャツ作り

スペシャルイベント

実施日	事業名	参加者
5月3日(土・祝) ～5日(月・祝)	GW お楽しみ企画 みんな集まれ!むかしのあそび	148名
8月6日(水)	郷土資料館 被爆建物案内	690名
7月30日(水)～ 8月1日(金)	夏休みわくわくイベント① おばけストラップ作り	181名
8月20日(水)～ 22日(金)	夏休みわくわくイベント② 紙コップけん玉作り	140名

企画展連携事業

実施日	事業名	参加者
4月29日(火・祝)	糧秣支廠建物ウォッチング	18名

その他の事業(館外事業)

実施日	事業名	主催等	参加者
4月18日(金)	解説「企画展 図面で見える宇品陸軍糧秣支廠・ 糧秣支廠たてものウォッチング」	公益財団法人広島観光コンベン ションビューロー	17名
5月23日(金)	講演「広島城下絵屏風から探る～ 江戸後期城下町の暮らし」	公益財団法人広島市文化財団 坪井公民館	32名
6月1日(日)	体験指導「広島城メモリアルデー ・礎石 de メンコ合戦!」	広島城	555名
6月10日(火)	解説「企画展 広島駅のいまむかし・糧秣支廠 たてものウォッチング」	公益財団法人広島観光コンベン ションビューロー	18名
6月19日(木)	講演「広島缶詰業の沿革」	一般社団法人広島県中小企業家同友会	18名
6月26日(木)	解説「展示解説と施設の概要」	世羅町教育委員会	12名
6月27日(金)	講演「ここが見どころ!!日本100名城」	公益財団法人広島市文化財団 美鈴が丘公民館	70名
7月3日(木)	講演「広島缶詰ものがたり」	公益財団法人広島市文化財団 中野公民館	39名
7月5日(土)	講演「広島藩の絵師 岡岷山を知っていますか」	公益財団法人広島市文化財団 藤の木公民館	17名
7月17日(木)	講演「日本100名城で探るお城めぐり」	公益財団法人広島市文化財団 倉掛公民館	26名
7月26日(土)	授業「社会教育施設の実地視察」	広島大学	10名
8月30日(土)	講演「鯉城からさぐるカープの名前と歴史」	公益財団法人広島市文化財団 二葉公民館	26名
9月27日(土)	体験指導「親子で体験する昔の暮らし～ 一銭洋食ってなあに?～」	公益財団法人広島市文化財団 南観音公民館	6名
9月27日(土)	解説「展示解説」	イオン宇品店	7名

令和7年度(2025年度) 後期企画展の紹介

企画展

『ごんぎつね』が語る昔の暮らし

会期：令和7年9月6日(土)～11月24日(月・振休)

今年も『ごんぎつね』の季節がやってきました。

新美南吉の童話『ごんぎつね』のストーリーをまじえながら、童話に登場する昔の道具や人々の暮らしを紹介します。



展示の様子

被爆80周年記念事業・企画展

タイムトラベル暮らし80年

～くらべて実感、わたしたちの暮らし

会期：令和7年12月6日(土)～令和8年2月23日(月・祝)

被爆から80年、その間に私たちの暮らしも劇的に変わりました。過去と現在を行きつ戻りつ、暮らしに関わる「もの」を比べて違いを実感することで、歴史や営みの移り変わりを振り返ります。



変化した暮らしの道具

企画展

写真で見る宇品陸軍糧秣支廠

会期：令和8年3月7日(土)～7月5日(日)

当館の前身である旧宇品陸軍糧秣支廠缶詰工場について、その役割や歩みを、当館に収蔵されている写真や道具類を通して紹介します。



糧秣支廠缶詰工場 箱詰め作業

状況により、展示会期・事業等の変更または中止の可能性があります。
あらかじめご了承ください。最新の情報は当館ホームページ等でご確認ください。



▲ HP



▲ Facebook



▲ Instagram



▲ X



▲ LINE

ひろしま郷土資料館だより No.110

令和7年(2025)9月30日発行

編集・発行 (公財)広島市文化財団 広島市郷土資料館
〒734-0015 広島県広島市南区宇品御幸二丁目6-20
TEL (082) 253-6771 FAX (082) 253-6772
URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>



広島市郷土資料館

HIROSHIMA CITY MUSEUM OF HISTORY AND TRADITIONAL CRAFTS